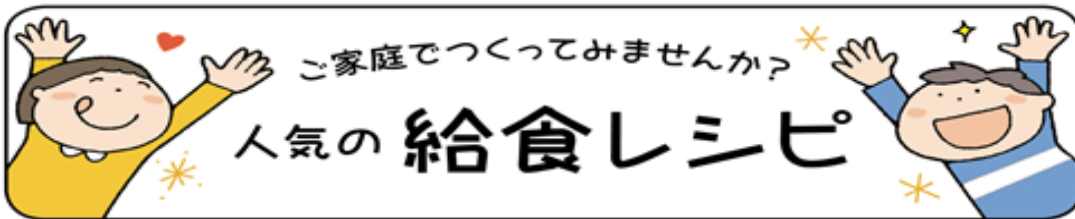
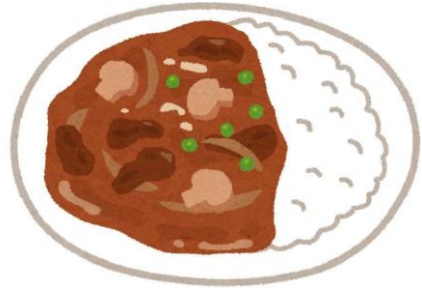


1/19 の献立について

ハヤシライス ごぼうチップス 野菜のマリネ りんご 牛乳



ごぼうチップス

子どもたちは、フライドポテトが大好き！でも、意外に野菜の揚げ物も大好きです。ごぼうチップスも給食の人気メニューの一つです。

<材 料>		4人分
ごぼう		200g
片栗粉		10g
揚げ油		適宜
A {	こいくちしょうゆ	小さじ1
	砂糖	大さじ1
	本みりん	小さじ1
	水	小さじ1

<作り方>

- ① たれを作る。A を鍋に入れて煮立てておく。
- ② ごぼうは、皮を軽く剥き、斜めに薄切り（2mm程度）する。
- ③ ②に片栗粉をまぶす。
- ④ 鍋に揚げ油を入れ、165～170℃に熱し、③をカリッと揚げる。
- ⑤ ④に①をからめる。

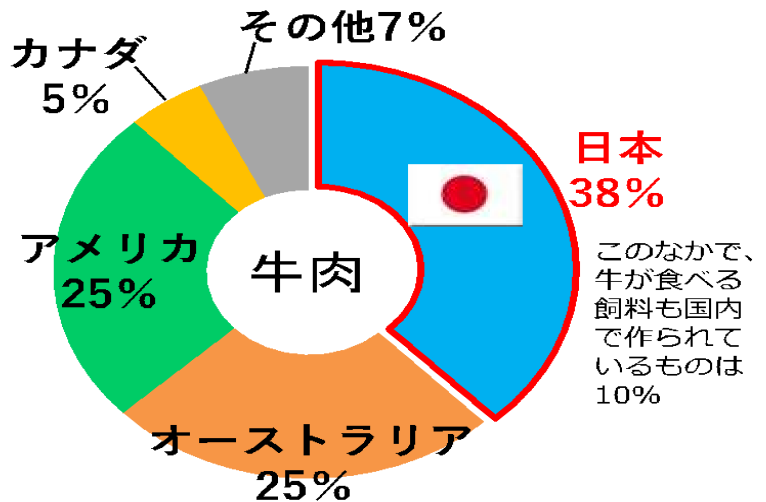


～1月の「とき健幸給食」 にとっておき食材紹介～

国産牛



みんなが大好きな“肉”ですが、日本で食べられている「国産牛」はどれくらい？



これからも外国から食べものを買われ続けるのかな？

世界では、人口の増加（2022年の80億人が2050年には97億人*）などで必要な食料の量が増えています。外国からの輸入に頼る日本にとって、食料を安定的に供給していくことについて不安な点があります。

*国連「World Population Prospects: The 2022」

世界中で必要な食料の量が増える

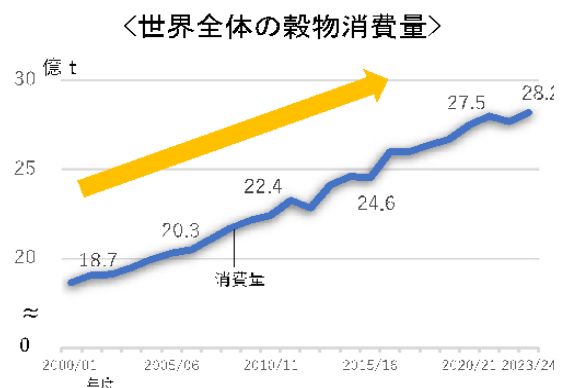
✓ 世界の人口が増加することで、食料の消費量は増加

✓ 特に、^{せいざいはってん}経済発展した国では肉類や^{ゆし}油脂類の消費が増加



豊かになると、多くの国では、肉をたくさん食べるようになるよ。

でも、肉を作るためには、その何倍も穀物（とうもろこしや麦など）をエサとして食べさせるから、たくさんの穀物が必要になるんだ。



米国農務省「PS&D」、World Agricultural Supply and Demand Estimates」を基に農林水産省作成

食料を安定的に供給していく上で不安な点

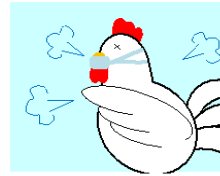
- ✓ 地球温暖化による異常気象の頻発
- ✓ 飼料や肥料、燃料などの価格の高騰
- ✓ 輸入食料の価格の高騰
- ✓ 鳥インフルエンザなどの家畜伝染病
- ✓ 輸出国による規制



温暖化



価格高騰



家畜伝染病



輸出禁止

農地や水、肥料も使える量は限られているから、このままではいずれ足りなくなると言われているよ。



日本の畜産業の問題点

・飼料(えさ)の輸入依存

令和元年度の日本の資料自給率25%、とうもろこし等の濃厚飼料12%に留まっています。

・飼料(えさ)の高騰

ウクライナ情勢に伴う穀物価格の上昇等によって配合飼料価格が上昇しており、畜産経営を圧迫しています

・労働力不足

日本の畜産業はいくつかの問題に直面しています。その一つが労働力不足です。現在、畜産農家の高齢化と若者の農業への関心の低下が進行しており、後継者不足が問題となっています。また、肉や卵の生産コストが高く、これが価格に反映されるため、安価な外国産品との競争に苦しんでいます

みんなで考えよう



日本はこれまで、世界中から食べ物を大量に買ってきましたが、近年では豊かな国が増え、他の国が買う食料の量も増えています。また、日本は食料や燃料、肥料などの資材を外国からの輸入に頼っているため、外国での異常気象や国際情勢などの影響を受けやすくなっています。

これからも安定して食べ物を確保していくためには、どんなことが必要かみんなで話し合ってみましょう。